

令和4年度複式学級担任者研修会

「複式学級における学習指導
及び学級経営について」



令和4年6月24日(金)

西北教育事務所 教育課

指導主事 菊地 和恵

へき地・複式教育 について

「へき地・複式教育」について

へき地学校の定義

(へき地教育振興法:昭和29年6月1日施行)

交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない山間地、離島その他の地域に所在する公立の小・中学校及び義務教育学校並びに中等教育学校の前期課程並びに学校給食法(昭和二十九年法律第百六十号)第六条に規定する施設をいう。

小規模校

標準学級数 12~18学級

11学級以下を小規模校として扱うことがある。

(学校教育法施行規則)

- 単式学級構成
- 複式学級構成



青森県内の状況(令和3年度「学校基本調査」より)

へき地学校 : 31校

(小学校)

複式学級を有する学校 : 54校

(小学校)

へき地指定校の割合

西北 : 23.5%

中南 : 5.2%



「へき地・複式教育」について

複式学級とは



児童が少ないため、1学年の児童だけでは学級を編制できない場合に、同学級に2個学年を収容して編制する学級

- ① **順則複式** 1・2年、3・4年、5・6年の編制
- ② **変則複式** 2・3年、4・5年の編制
- ③ **飛び複式** 欠学年がある場合の複式編制

へき地学校、複式学級だからこそできる教育

【へき地の三特性】

へき地こそ

体験活動
の宝庫



小規模こそ

小規模こそ
個性を生かす
大地

複式こそ

複式こそ
自ら問題解決
する力を育む
ゆりかご

へき地学校、複式学級だからこそできる教育

小規模校こそ

- ①地域は学校に協力的
- ②個に応じた指導の充実
- ③地域の特性を活かした体験活動
- ④地域と連携・協力した教育活動



へき地学校、複式学級だからこそできる教育

複式こそ



- ① 温かい雰囲気醸成されやすい。
(児童同士、児童と教師)
- ② 異年齢同士の協力的な態度を養いやすい。
- ③ 自主的、協力的な学習態度を育てやすい。
- ④ 一人一人の存在感や役割をもたせやすく、
リーダー性を育てやすい。

複式学級の特性を活用する

【解決したいこと】 → 【価値やよさ】

① 大きな集団での社会的経験の場

② 教師の直接的な指導を受ける時間が少ない

③ 学級を構成する児童が毎年変わることが多い

発想の転換

① 個に応じた指導が行いやすい

② 児童の主体的な学びの場面をつくりやすい

③ 上学年と下学年の二つの立場を経験できる

複式学級における 学級経営について

学級経営の基本



学年にかかわらず
クラスメイトとして全員で
温かい学級づくりを



縦のつながり
横のつながり



活動が停滞しがち



偏りや固定化を防ぎ
意見を出しやすくする

意見や提案は第1案、
第2案、第3案と出す

個人差が大きい



児童生徒の側に立った
具体的な目標を設定



個の実態を正しく捉えて
手立てや支援を構想する

馴れ合いが生じる



公的場面と私的場面の
区別



児童同士の向上心
を高める

平成29・30年度指導資料第39集

へき地・複式教育ハンドブック (一般編)



平成31年3月
青森県教育委員会



令和2・3年度指導資料第40集

へき地・複式教育ハンドブック (事例編)



令和4年3月
青森県教育委員会

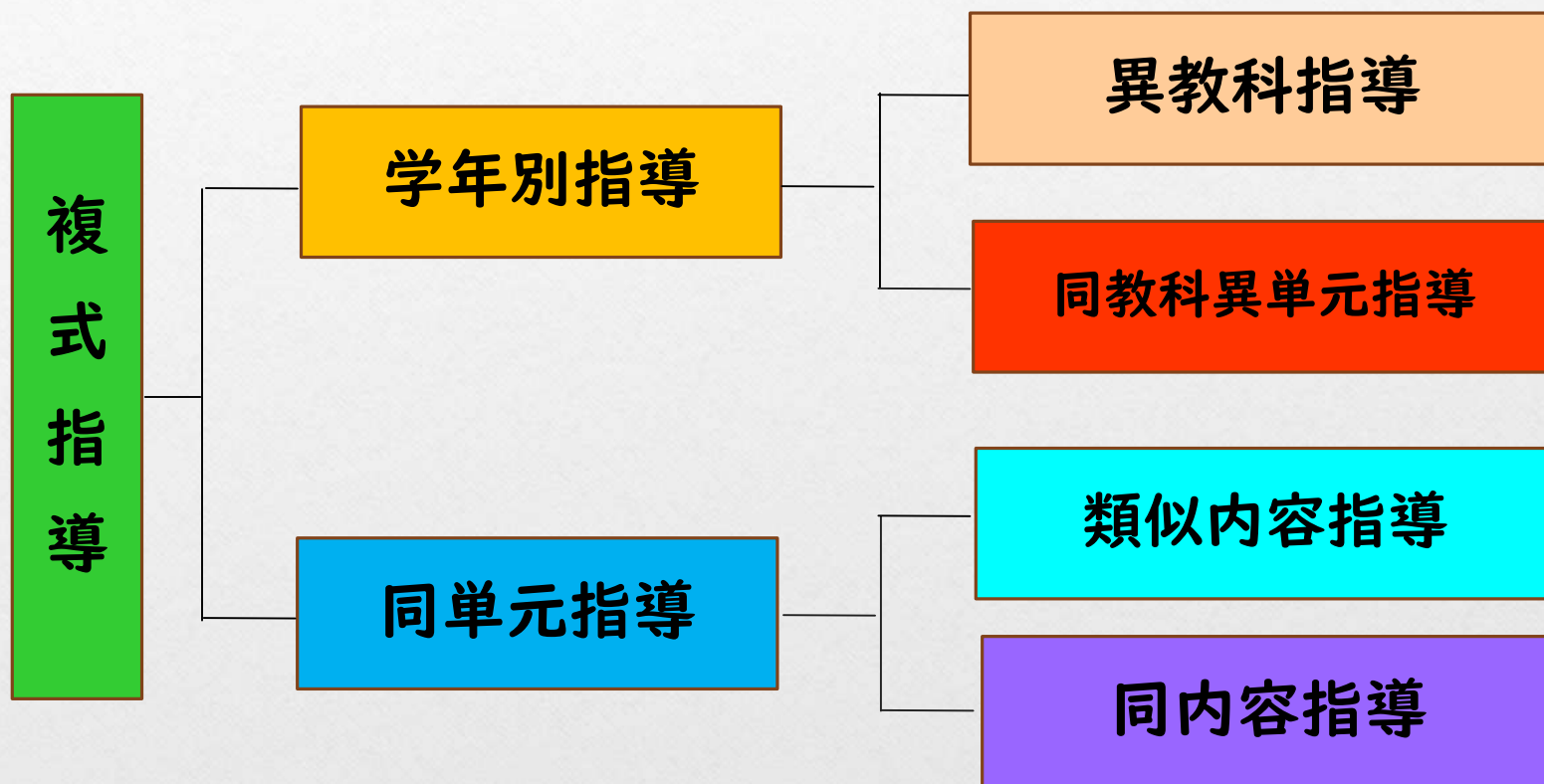


複式学級における
学習指導の

基本的な進め方

Ⅰ 学習指導の類型

主な学習指導の類型



(1) **学年別指導** とは

各学年の学習内容を別々に指導

異教科指導

・・・違う教科を学年ごとに指導

同教科異単元指導

・・・教科は同じ、異なった単元・指導内容

異内容指導

・・・同じ単元で異なった内容で指導
(同単元指導にも含む)

(2) **同単元指導** とは

1つの学級として同時に指導

類似内容指導

- ① 同じ系統の教材を同じ単元で
- ② 共通な目標や学習活動
- ③ 学年差の程度を変えて行う指導

同内容指導

・・・同じ教材を単式形式で行う指導

2 複式指導における基本的な用語

- (1) 直接指導と間接指導 (担任が1名のため)
- (2) ずらし ……学習の段階等をずらす
- (3) わたり ……教師が直接指導のため移動
小わり ……同時間接指導時に個々の
状況を把握するためのわり
- (4) ガイド学習 ……間接指導時に児童生徒
(ガイド)が学習を進めること
- (5) リーダー学習 ……ガイド学習へ移行する前段階

(1) 直接指導と間接指導

間接指導



直接指導



直接指導



- 直接指導の時間が多く必要なのはどちらの学年見極める。
- 他方の学年が自主的に学習できるように指示や課題を出す。
- わたる計画と予測時間を決めて、知らせておく。
- 本時で習得すべきことを提示しておく。
- 視覚に訴える教材を使う。

間接指導

間接指導



【自力解決】

- ・不用意な助言は避ける。
- ・必要な場合は、タイミングをみてわたる。
- ・児童の思考を助けるものや自力解決度に合わせたヒントカード等を準備する。



(2) ずらし(学習過程)



課題把握
(つかむ)

自力解決・課題追究
(調べる)

定着 (まとめる)

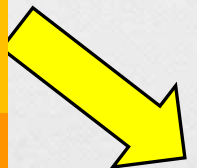
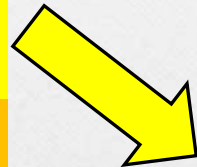
習熟・活用
(深める・広める)

習熟・活用
(深める・広める)

課題把握
(つかむ)

自力解決・課題追究
(調べる)

定着
(まとめる)



(2) ずらし(単元計画)

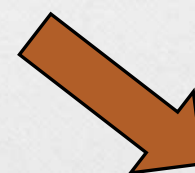
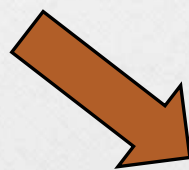
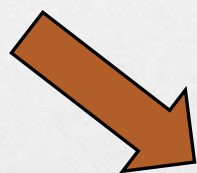


単元の
導入

単元の
展開

単元の
まとめ

次単元の
導入



前単元の
まとめ

単元の
導入

単元の
展開

単元の
まとめ

(3) わたり (学習過程における流れ)

課題把握
(つかむ)



自力解決
課題追究 (調べる)

定着
(まとめる)



習熟・活用
(深める・広める)

習熟・活用
(深める・広める)

わたり



課題把握
(つかむ)

自力解決
課題追究 (調べる)



定着
(まとめる)

(4) ガイド学習



(4) ガイド学習

①小集団指導の一形態

- 児童の中から選ばれた学習の案内役(ガイド)
- 教師の指導のもとに立てられた学習進行計画
- 主に間接指導時に、グループで学習する形態

★間接指導のみをガイドに任せる場合

★直接指導の部分をガイドに進行させ、

教師は助言や個別指導にまわる場合 など



②ガイド学習のねらい

- (ア) 話し合い学習を促進し、言語能力を向上
- (イ) リーダーシップの育成
- (ウ) 問題解決活動の効率化
- (エ) 解決の手立て(学び方)の習得

③ガイドの育成

- (ア) 学習訓練の徹底
 - ・ 基本的な学習態度のしつけ
 - ・ 基本的な学習用語の訓練
- (イ) 直接指導や共通場面でのガイドの訓練
 - ・ 教師をまねる→学習ガイド進行表を見て
- (ウ) カード、板書、学習計画によって指示

(5) リーダー学習

① ガイド学習へ移行する前段階

○ 間接指導時の進行役 (学習リーダー)

課題解決
への意欲
を高める



学習の
主体者で
あるとい
う自覚

(5) リーダー学習

②どの児童でもできるように

○リーダーとフォロワー

リーダーの
役割

リーダーに
協力する態度

基本的な学習
の
進め方

一人学習や
グループ学習
の
進め方



直接指導



間接指導



間接指導

直接指導

間接指導の充実のために



児童が自ら学び、自ら
考える力を育む時間



教師の働きかけ
意図的・計画的に

★わたりの前後の直接指導を充実

課題把握



わ
た

習熟・活用



自力解決
課題追究



課題把握

定着



り

自力解決
課題追究



習熟・活用



定着



★個別に見届ける

課題把握



← 一斉指導



← ???

自力解決・課題追究

わたり

習熟・活用

課題把握

→ 一斉指導



★個別に見届ける

課題把握



一斉指導



???

自力解決・課題追究



!!

学習課題の意味を
理解している？

解決の見通しは
もっている？



★個別に見届ける

一斉指導

学習課題について?
解決の見通しについて?

??

個別指導

!!



★わたりの前後の直接指導を充実

自力解決
課題追究



課題把握



わたり

定着



個別指導



一斉指導

自力解決
課題追究



★わたりの前後の直接指導を充実



個別指導

個別指導した児童は？

一人一人の思考過程は？

理解度は？



直接指導

★わたり前後の直接指導の充実

課題把握



習熟・活用



自力解決
課題追究



わたり

課題把握



定着



わたり

自力解決
課題追究



習熟・活用



定着



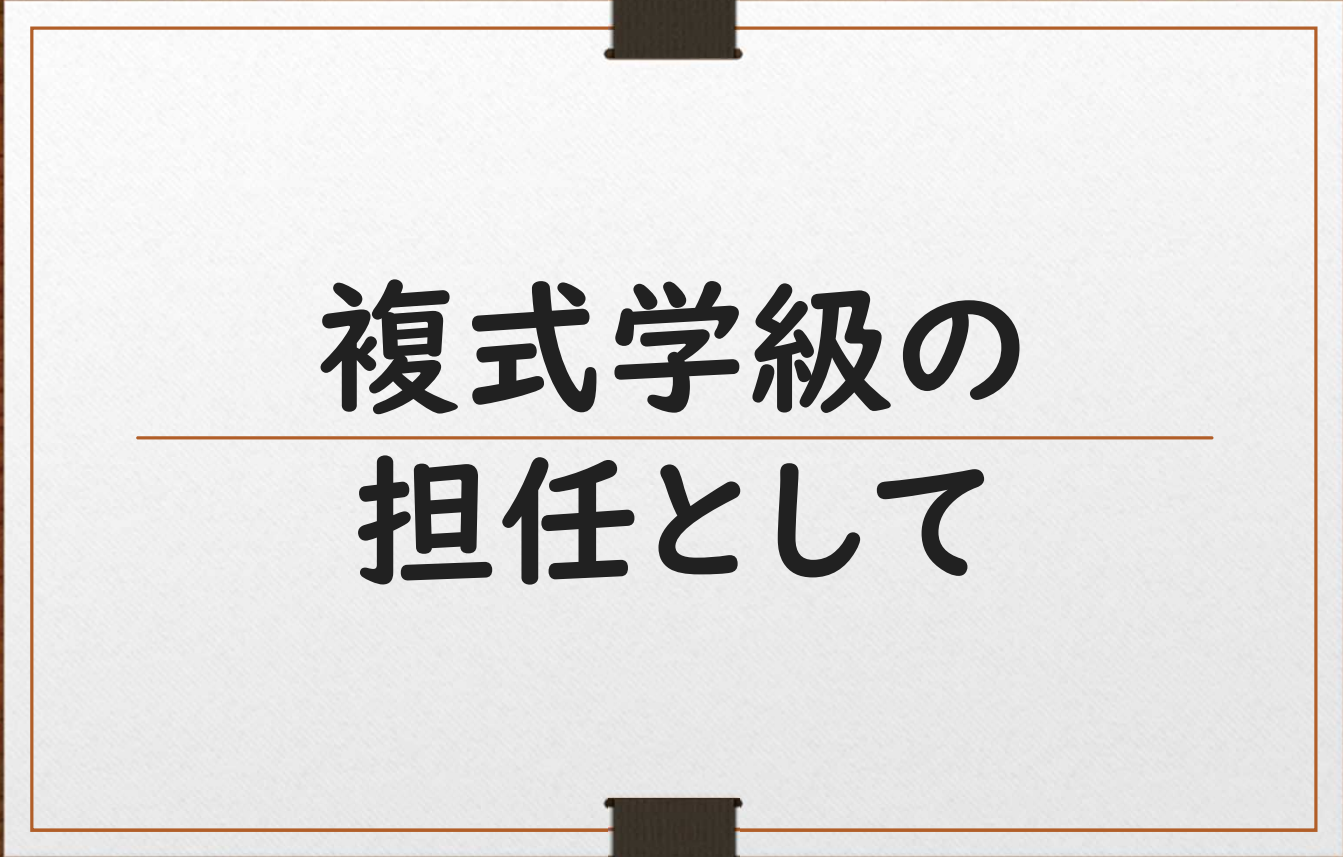
間接指導の充実のために



児童が自ら学び、自ら
考える力を育む時間



教師の働きかけ
意図的・計画的に



複式学級の
担任として

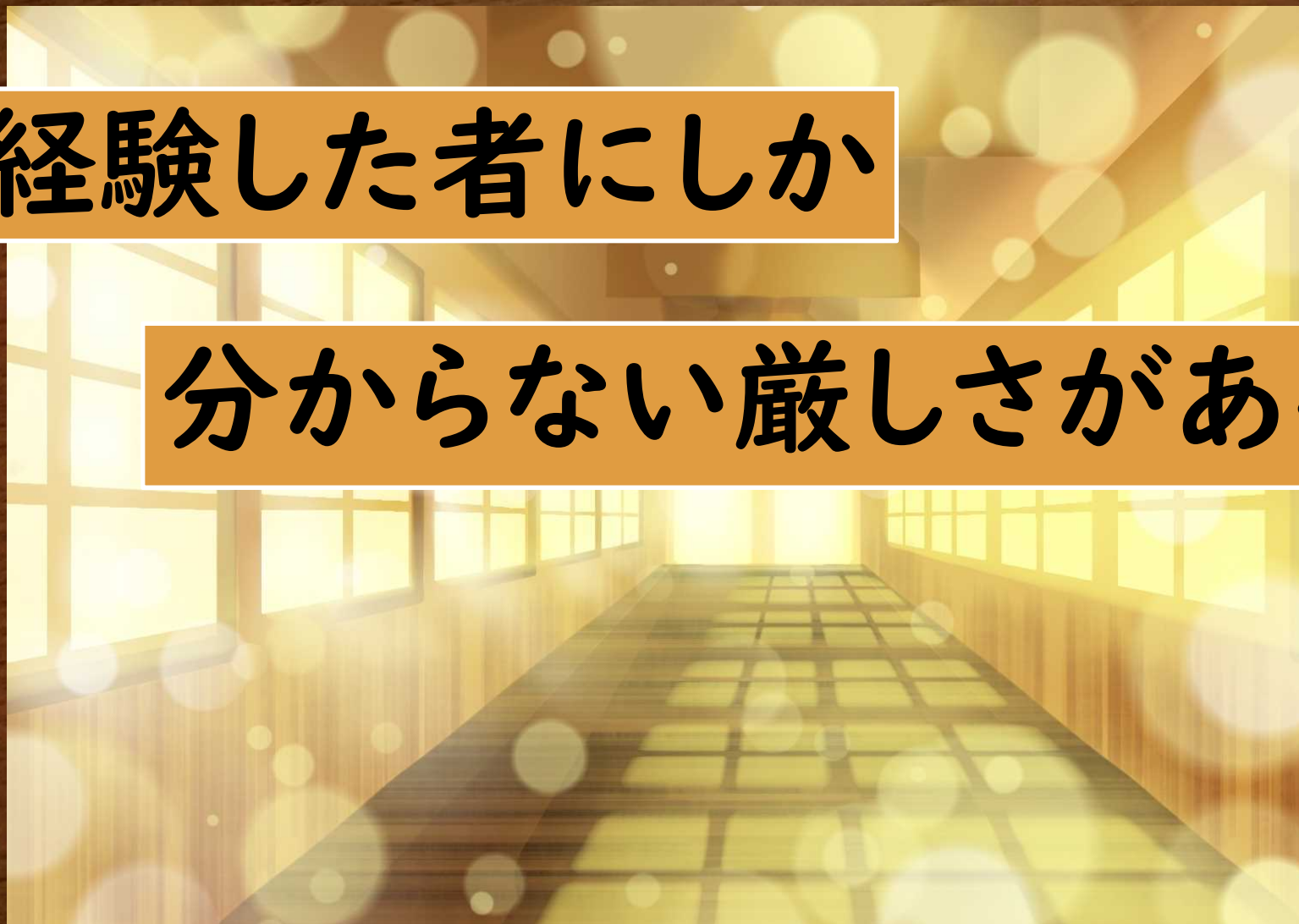


複式学級だからこそ

できる学びを

経験した者にしか

分からない厳しさがある





労力は

2倍どころじゃない

苦勞が報われた時は

自分で自分を褒めたくなる



大変だから工夫を重ねる

その実践を交流し合い

励まし合うつながりは

宝物になる